

令和8年度（2026年度）くまもと文学・歴史館10周年記念大収蔵品展
おん こ ち しん

温故知新—文学と歴史でたどるくまもとの記憶2026—

2016年1月、熊本近代文学館がリニューアルし、くまもと文学・歴史館がオープンしました。それから10年、“文学と歴史でたどるくまもとの記憶”をテーマに、企画展や収蔵品展、国宝「平城宮木簡」や「蒙古襲来絵詞」を展示した特別展など、60回以上の展示会を開催してきました。この間も当館では、夏目漱石や中村汀女など熊本ゆかりの文学者たちの原稿や書簡、作品を収集・保存し、研究に取り組んでいます。また、併設する熊本県立図書館が所蔵する検地帳、絵図、明治期を中心とした行政文書群「熊本県公文類纂」などの歴史資料の調査を進めています。この度、開館10周年の節目にあたり、大収蔵品展を開催します。文学と歴史の視点から収蔵資料をひもとくことによって、どのような新しい“知”が見出せるのか、展示をご覧くださいながら探っていただければ幸いです。

- 1 会 期：令和8年（2026年）7月17日（金）～9月23日（水・祝）
- 2 開館時間：9：30～17：15
- 3 休 館 日：毎週火曜日（8月11日、9月22日は開館）、7月31日（金）、
8月12日（水）、8月28日（金）
- 4 会 場：くまもと文学・歴史館展示室1、2
（熊本市中央区出水2丁目5番1号）
- 5 入 館 料：無料
- 6 関連行事

①オープニングセレモニー

日 時：7月17日（金）10：00～11：00（受付9：30～）

〔くまもと文学・歴史館ロビー/主催者挨拶・テープカットなど〕

②ギャラリートーク（展示担当者による展示解説）〔無料/申込不要〕

日 時：7月20日（月・祝）、8月22日（土）

いずれも13：30～14：00

くまもと文学・歴史館ロビー集合

③高橋源一郎×伊藤比呂美 記念対談〔無料/要申込/定員200名〕

テーマ：「くまもとで文学」（人生相談もやります）

講 師：高橋源一郎（作家）、伊藤比呂美（詩人）

日 時：7月25日（土）14：00～16：00

場 所：水前寺共済会館グレースィア 鳳凰の間

（熊本県熊本市中央区水前寺1丁目33-18）



対談 参加申込み

④図書館ギャラリー展「くまもと文学・歴史館 10年のあゆみ」〔無料/申込不要〕

くまもと文学・歴史館のこれまでの展示会ポスターを紹介します。

日 時：7月11日（土）～9月23日（水・祝）

場 所：熊本県立図書館 1 階 図書館ギャラリー

⑤10 周年記念 ^{さとうまこと}佐藤 信 館長講演会 [無料/要申込/定員 100 名]

演 題：「海外に開かれた熊本の歴史」

講 師：佐藤信（くまもと文学・歴史館長、東京大学名誉教授）

日 時： 9 月 12 日（土） 13 時 30 分～15 時

場 所：熊本県立図書館 3 階大研修室



講演会 参加申込み

【主な展示資料・みどころ】

◆「^{てんしょう}天正十七年八月 ^{ひごのくにけんちちょう}肥後国検地帳（深川村）」

天正17年（1589年）、秀吉の命を受けた加藤清正らは肥後国の検地を行いました。田畑を「上・中・下」などの等級に分けて収穫高を把握する、いわゆる「^{たいこうけんち}太閤検地」です。熊本県立図書館には天正期の検地帳を含め、約4,000冊の検地帳が保管され、**熊本県指定重要文化財**とされています。

◆「^{ひごのくにごうちょう}肥後国郷帳（^{ひごのくにならびにぶんごのうちごうちょう}肥後国 并 豊後之内郷帳）」

領地の石高を村ごとに書き上げた帳簿。^{ほそかわただとし}細川忠利が^{とくがわいえみつ}徳川家光から肥後国と豊後3郡を与えられた際に作成し、幕府に提出しました。合わせて54万石と記されています。

◆^{くまもとけんこうぶんるいさん}熊本県公文類纂

熊本県公文類纂は、明治期を中心とした熊本の行政文書群で、約2,700点が県立図書館に保管されています。明治初期の^{しんふうれん}神風連の決起事件や西南戦争をはじめ、教育、産業振興など様々な分野にわたる行政の記録が記されています。

◆【初公開】^{なつめそうせき}夏目漱石書簡村^{むらかみせいげつ}上霽月宛

夏目漱石が俳句仲間である、松山出身の俳人・村上霽月に宛てた書簡。近日、漱石宅で句会を開く案内や、詠んだ俳句12句を紹介しています。

◆【初公開】^{いしむれみちこ}石牟礼道子^{そうししや}自筆原稿「相思社のキノコ」

石牟礼道子が「水俣病センター相思社」の黎明期について描いたエッセイ。患者たちの自立への手がかりとなるキノコ工場で働く若者たちの姿が描写されています。

◆^{たねださんとうか}種田山頭火書簡 ^{ともえだりょうへい}友枝 寥 平宛

種田山頭火が熊本の友人に送った、自分の窮状を助けて欲しいという内容の手紙。

◆^{なかむらていじよ}中村汀女愛用品等

着物、バック、履物、机などの愛用品のほか、自筆原稿なども展示します。



10th

熊本県公文類纂
拓くもくまもとを

お問合せ先

熊本県立図書館 学芸調査課

担 当 畠中・鶴本

住 所 〒862-8612 熊本市中央区出水2丁目5番1号

電 話 096-384-5000（代表） FAX 096-385-4214

温

on

安永落子歌幅

朝霞の薄れゆくには

いづれ月を抱きて眠るは

夏目漱石書簡

水あらしまづよの夕暮
つらや成市をふらんわが
一ふたのいれよりふちうら
絶望の敵あつてまぬ
はくすの解いあき
改
あき
あき

中村汀女愛用品

知
chi

新
shin



入館
無料

五輪書(写) 藤原玄信(武蔵) 正保2年(1645年)成立

熊本県管内中学校位置之図
明治12年(1879年)

故
ko

肥後玉弔帳

肥後国郷帳
寛永11年(1634年)

令和8年(2026年)

7月17日(金) — 9月23日(水・祝)

開館時間 午前9時30分～午後5時15分

休館日 毎週火曜日(8月11日、9月22日は開館)、7月31日(金)、8月12日(水)、8月28日(金)

会場 くまもと文学・歴史館 展示室1、2(熊本市中央区出水2-5-1)

主催 くまもと文学・歴史館、熊本県立図書館



くまもと文学・歴史館
10周年記念
大収蔵品展

温故知新

on ko chi shin

文学と歴史でたどるくまもとの記憶2026

2016年1月、熊本近代文学館がリニューアルし、くまもと文学・歴史館がオープンしました。それから10年、文学と歴史でたどるくまもとの記憶をテーマに、企画展や収蔵品展、国宝「平城宮木簡」や「蒙古襲来絵詞」を展示した特別展など、60回以上の展示会を開催してきました。この間も当館では、夏目漱石や中村汀女など熊本ゆかりの文学者たちの原稿や書簡、作品を収集・保存し、研究に取り組んでいます。また、併設する熊本県立図書館が所蔵する検地帳、絵図、明治期を中心とした行政文書群「熊本県公文類纂」などの歴史資料の調査を進めています。この度、開館10周年の節目にあたり、大収蔵品展を開催します。文学と歴史の視点から収蔵資料をひもとくことによって、どのような新しい「知」が見出せるのか、展示をご覧くださいながら探っていただければ幸いです。



高群逸枝短冊



耕治人原稿「すみ鼠」



歴史

文学

th

関連イベント 参加無料

高橋源一郎×伊藤比呂美 記念対談 要申し込み

テーマ：「くまもとで文学」（人生相談もやります。）

日時：令和8年（2026年）7月25日（土）14時～16時

場所：水前寺共済会館グレースシア（熊本市中央区水前寺1丁目33-18）

講師：高橋源一郎（作家）、伊藤比呂美（詩人）

定員：200名 申し込み先着順 駐車場はありません

申込先：電話、もしくは二次元コードから申し込んでください。

電話：くまもと文学・歴史館 TEL.096-384-5000（代）受付時間9時30分～17時

※くまもと文学・歴史館公式YouTubeチャンネルで後日配信予定



高橋 源一郎 たかはしげんいちろう

1951年、広島県生まれ。作家。1981年、『さようなら、ギャングたち』で作家デビュー。『優雅で感傷的な日本野球』で三島由紀夫賞、『日本文学盛衰史』で伊藤整文学賞、『さよならクリストファー・ロビン』で谷崎潤一郎賞を受賞。

近著に、『食べる本-読むダイエット』『ぼくたちはどう老いるか』『ゴヂラ』『DJヒロヒト』など。



伊藤 比呂美 いてひろみ

1955年、東京都生まれ。詩人。1978年、詩集『草木の空』でデビュー。『ラニーニヤ』で野間文芸新人賞、『河原荒草』で高見順賞、『とげ抜き 新築鳴地蔵縁起』で萩原朔太郎賞、紫式部文学賞、『道行きや』で熊日文学賞。その他、早稲田大学坪内逍遙大賞、種田山頭火賞、スウェーデンのチカダ賞を受賞。

近著に、『伊藤比呂美の歎異抄』『野犬の子犬チート』『わたしのとおさんのりゅう』など。

撮影：吉原洋一

10周年記念 佐藤信館長講演会 要申し込み

日時：令和8年（2026年）9月12日（土）13時30分～15時

場所：熊本県立図書館3階大研修室

講師：佐藤信（くまもと文学・歴史館長、東京大学名誉教授）

演題：「海外に開かれた熊本の歴史」

定員：100名 申し込み先着順

申込先：電話、もしくは二次元コードから申し込んでください。

電話：くまもと文学・歴史館 TEL.096-384-5000（代）受付時間9時30分～17時

※くまもと文学・歴史館公式YouTubeチャンネルで後日配信予定



ギャラリートーク（展示担当者による展示解説）

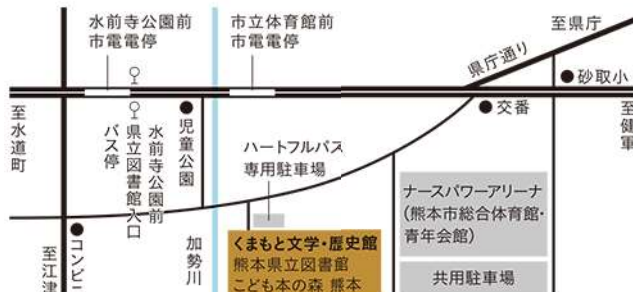
日時：令和8年（2026年）7月20日（月・祝）、8月22日（土）

いずれも13時30分～14時

場所：くまもと文学・歴史館ロビーに集合 事前申込み不要



南宗論語 公益財団法人 永青文庫蔵（くまもと文学・歴史館寄託）



■JR熊本駅から路面電車で約40分（JR新水前寺駅から路面電車で約10分）

「市立体育館前」下車徒歩約5分

■バス「水前寺公園前・県立図書館入口」下車徒歩約5分

■駐車場：熊本市総合体育館・青年会館駐車場（共用）

■ハートフルバスをお持ちの方は、図書館北側の専用駐車場をご利用ください。

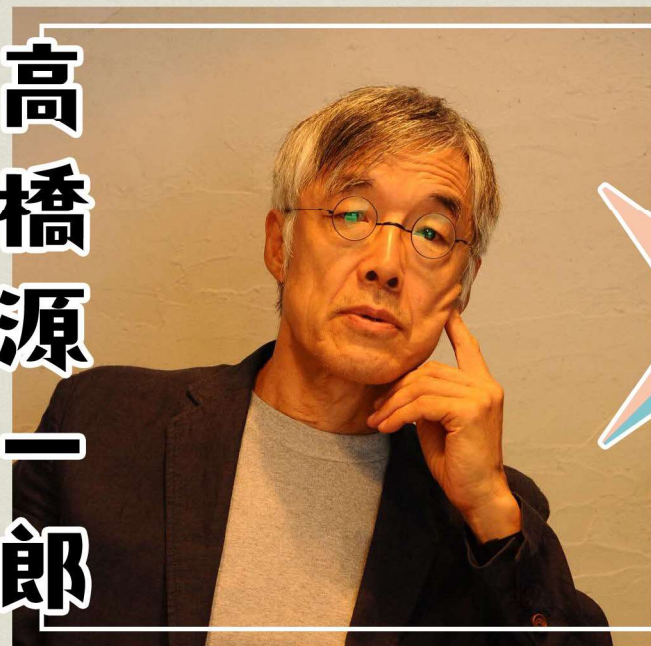
■駐車場に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

くまもと文学・歴史館
Kumamoto Museum of Literature and History

熊本市中央区出水2-5-1 TEL:096-384-5000（代表）
<https://www.2.library.pref.kumamoto.jp/bunreki>



高橋源一郎



1951年、広島県生まれ。作家。1981年、『さようなら、ギャングたち』で作家デビュー。『優雅で感傷的な日本野球』で三島由紀夫賞、『日本文学盛衰史』で伊藤整文学賞、『さよならクリストファー・ロビン』で谷崎潤一郎賞を受賞。近著に、『食べる本一読むダイエット』『ぼくたちはどう老いるか』『ゴチラ』『DJヒロヒト』など。

伊藤比呂美



撮影：吉原洋一

1955年、東京都生まれ。詩人。1978年、詩集『草木の空』でデビュー。『ラニーニャ』で野間文芸新人賞、『河原荒草』で高見順賞、『とげ抜き 新集鴨地蔵縁起』で萩原朔太郎賞、紫式部文学賞、『道行きや』で熊日文学賞。その他、早稲田大学坪内逍遙大賞、種田山頭火賞、スウェーデンのチカダ賞を受賞。近著に、『伊藤比呂美の歎異抄』『野犬の子犬チトー』『わたしのおとうさんのりゅう』など。

記念対談

人生相談もやります

くまもとで文学

令和8年(2026年)

7月25日(土)

午後2時～4時

くまもと文学・歴史館 公式YouTubeチャンネルで 後日配信
令和8年(2026年)8月下旬～2か月程度(予定)

会場

水前寺共済会館 グレーシア
鳳凰の間

熊本市中央区水前寺1丁目33-18

(電話 096-383-1281)

公共交通機関でお出ください。駐車場はございません。

- ・JR「水前寺駅」からは徒歩約8分。
- ・熊本市電「国府」からは徒歩約5分。
- ・くまもと文学・歴史館からは徒歩約12分。



参加無料

要申し込み

定員 200名

(申し込み先着順)

電話 もしくは 二次元コード からお申し込みください

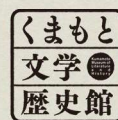
電話 ▶ 096-384-5000

(熊本県立図書館代表)

電話申し込み受付時間 午前9時30分～午後5時(休館日を除く)



二次元コード ▲
(24時間受付)



10th